

efit+ for TCU Ver.1.3.4.0 アップデート概要

2012 年 4 月
株式会社 ニコン・トリンブル

本書では、efit+ for TCU Ver.1.3.4.0 で追加、変更された機能の概要を説明します。

■ ソフトウェア構成表

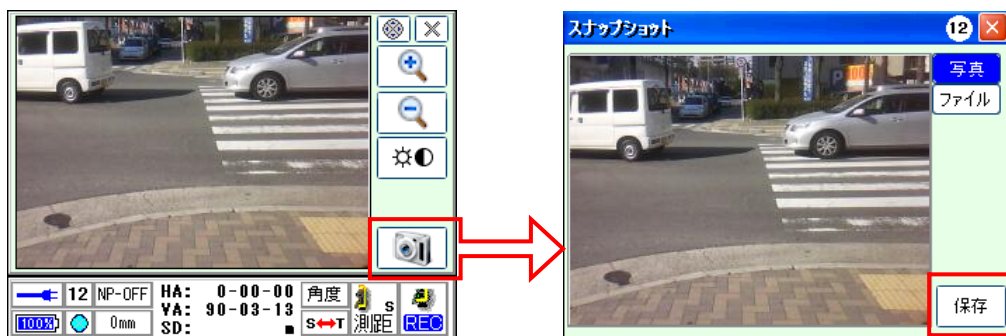
◆efit+ for TCU Ver.1.3.4.0 の製品構成は下記の通りです。

製品名	コード	備考	改良
efit+T 測量基本ソフト	B-E1-T00	基本キットに含まれます	枝番検索機能の追加、ビデオ画面改良など
efit+T 測量観測	B-E1-T50	基本キットに含まれます	平面観測に視準距離チェック機能の設定追加
efit+T 測量計算	B-E1-T51		
efit+T 線形計算	B-E1-T52		
efit+T 縦横断観測	B-E1-T53		
efit+T 平板観測	B-E1-T54		
efit+T GPS観測	B-E1-T55		
efit+T オートフォーカスOP	B-E1-T56		
efit+T 地籍観測	B-E1-T57		図根点観測から視準距離チェック機能を削除
efit+T Nikon通信OP	B-E1-T58		

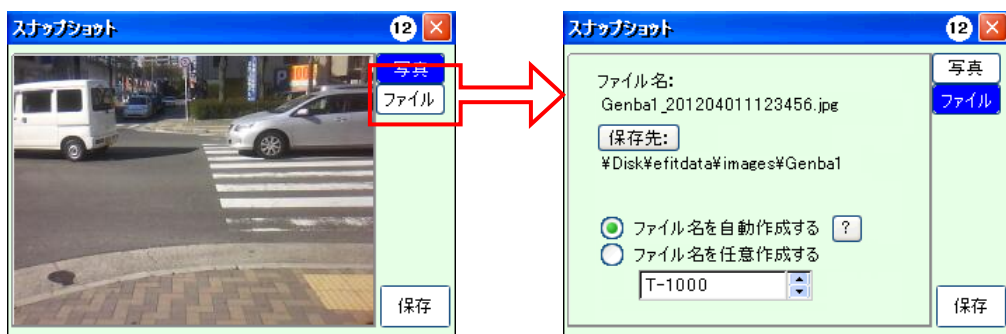
■ ビデオ画面に写真撮影機能を追加

Trimble VISION 搭載機

- ◆本バージョンよりビデオ画面を表示中に[撮影]ボタンを押すと写真を撮影することができるようになりました。
- ◆ビデオ画面で[撮影]ボタンを押すと静止画を表示しますので写真データ(JPG)として保存する場合は、[保存]ボタンを押します。



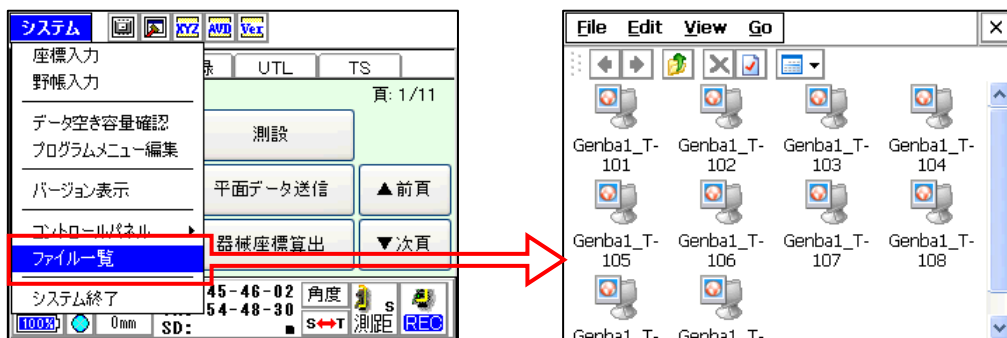
- 写真データの保存先やファイル名を変更する場合は、画面右上にある「ファイル」タブを選択します。



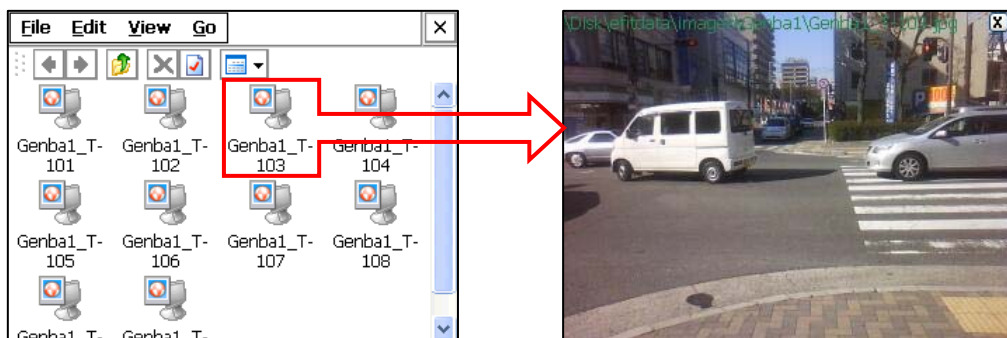
- 保存するファイル名は、現場名を先頭にして現場名以降に文字を自動作成と任意作成のモードから選択できます。
⇒自動作成は、撮影日時から自動的にファイル名を作成します。(現場名_年月日時分秒.JPG)
※平面観測を使用中は、直前の観測点の名称(名称がない場合はNo)を撮影日時と置き換えて登録します。
※測設プログラムを使用中は、測設中の点名称(名称がない場合はNo)を撮影日時と置き換えて登録します。
(現場名_T-100.JPG、現場名_100.JPG)

⇒任意作成は、指示した文字列からファイル名を作成します。(現場名_入力文字列.JPG)
指示した入力文字の末尾が数字の場合は、ファイル保存後カウントアップします。

◆撮影した画像は、システムメニューからファイル一覧を選択して確認することができます。



●「My Device」の画面を表示しますので確認したいファイルをダブルタップすると撮影画像を確認できます。



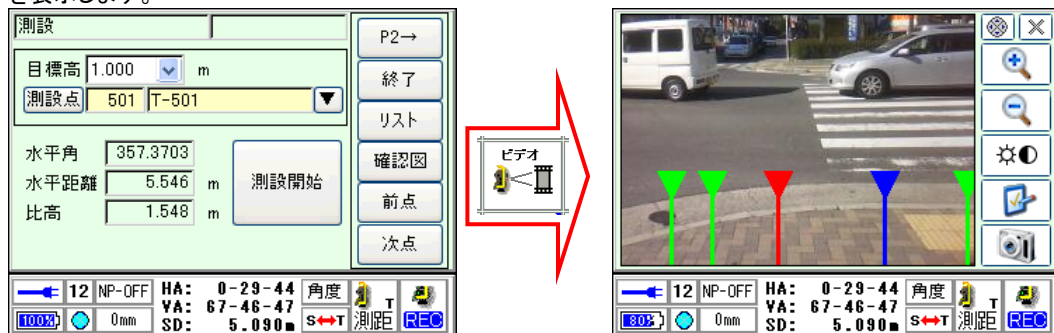
■ ビデオ画面に測設方向表示/選択機能を追加

Trimble VISION 搭載機

◆本バージョンより測設プログラムで測設点登録をしておけば、ビデオ画面に測設方向の表示と選択が行えるようになりました。



◆あらかじめ測設点登録で測設点を登録しておけば、測設点選択画面でビデオ画面を表示すれば、測設点方向表示マークを表示します。



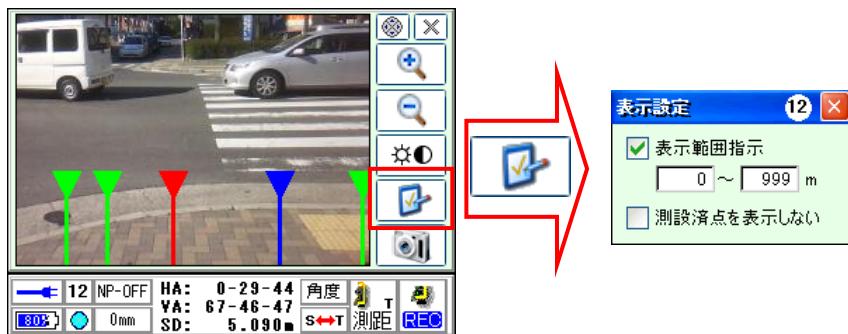
●マーク説明:

 赤:後視点
  緑:測設点
  青:測設済点
 ※本マークは、測設方向のみを示すマークです。(距離は考慮していません)

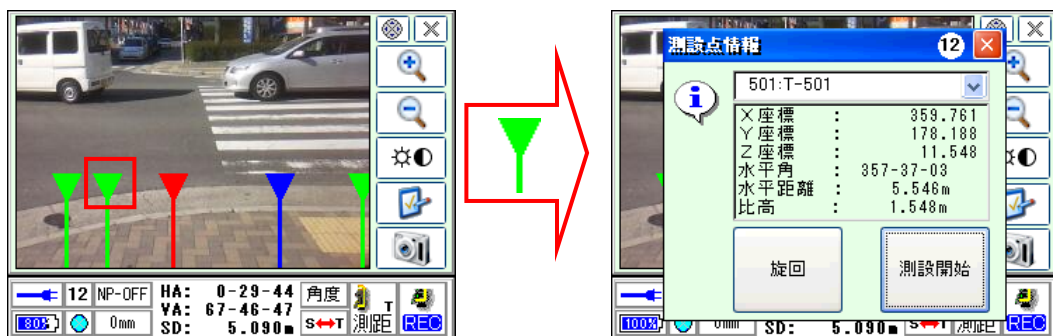
●表示設定により、表示する測設点の間引きを行うことができます。

また、測設済の点を非表示にすることもできます。

※本設定は、システムを終了するとリセットされます。



◆測設方向を表すマークを画面タッチすることにより測設を開始することができます。



◆測設を開始すると、測設方向を示す緑の縦線を表示(赤の縦線は後視点方向)しますので緑の縦線方向にプリズムを誘導します。三次元測設の場合は、緑の縦線上に円が表示されますので円内にプリズムを誘導します。プリズムを視準して測距を開始するとビデオ画面を閉じて較差画面に戻ります。較差画面で[VIDEO]ボタンを押すとビデオ画面を表示します。



■ 枝番検索機能を追加

- ◆本バージョンより点名入力時に「枝番検索機能」が使用できるようになりました。

枝番検索機能とは、点名入力の補助的なツールで入力された頭文字で直前に利用された番号(数字)をカウントアップして表示する機能です。

例えば、点名に T1、T2、T3、P-35、P-36 と順番に登録された場合、「T」を入力して枝番検索をすると「T4」が表示されます。「P-」を入力して枝番検索をすると「P-37」が表示されます。

※本機能は、座標データ内を検索しているのではなく、入力履歴から枝番号を検索していますので座標名称の空き番号は表示されません。

点名 …… T-125、TK.3560、SP0051 など…

枝番 …… 点名の末尾の数字を本システム上では枝番と呼びます。
(上記点名の「125」「3560」「0051」です)

頭文字 …… 枝番の前の文字列を本システム上では頭文字とここでは呼びます。
(上記点名の「T-」「TK.」「SP」です)

①点名に頭文字を入力します。

②点名の入力BOXを長く押すと「枝番検索」が表示されます。

※点名が未入力の時や未使用の頭文字の場合は、選択できません。

③「枝番検索」を選択すると枝番を検索して表示します。

※頭文字の大文字、小文字を区別することはできません。

■ 平面観測の改良

- ◆視準距離チェックの有無が設定できるようになりました。

現在、後視点の距離が計測された場合、無条件に視準距離チェックをしていましたが本バージョンより後視点の距離を計測するときに限り、視準距離チェックの設定を追加しました。

■ 後視点の距離計測なし

■ 後視点の距離計測あり

■ 図根点観測の変更

地籍観測オプション

- ◆視準距離チェック機能を省きました。

後視点と視準点の距離のチェックは放射法のみで行うものですので機能を省きました。

以上